

5月に入り過ごしやすい季節になってきました。
デイサービスの利用者様もスタッフのキーボードに合わせ、「春の小川」や「春よ来い」
など春ソングを気持ちよく合唱しました。穏やかな笑顔を見せてくれています。

デイ便り



暮らしのひとコマ

和歌山県でのコロナ陽性者は一時に比べれば減少傾向とはいえ、高止まり状態が続いています。今や感染経路などたどる意味もなく、「いつでも、どこでも、誰でも」かかり得る状況だから、少しも油断が出来ない。わかばでは今現在、幸いにして入居者様の感染はゼロだが、感染の可能性はゼロではなく、危機と背中合わせだ。

感染は絶対拵げまいと職員は日々奮闘しています。ショートステイの利用者様の入所の際とわかば職員の抗原抗体検査は月に約300件実施しています。少ない看護師体制で医務室メンバーは頑張っています。ユニットの職員も再三の勤務の組み換えにも皆快く協力をし、業務をカバーしあっています。入居者様の健康状態にも敏感になります。少しでも体調の変化があれば医療機関を受診する。隣に和歌山生協病院があることに感謝だ。

これだけ気をつけていても感染者が出ないという保障はどこにもなく、毎日が薄氷を踏む思いです。トンネルの向こうの世界が早く見えてくれることを願います。1階のホールで歌ったり笑いあったりした日々を取り戻したいです。(亜)

編集後記

ロシアによるウクライナへの侵略行為、人道被害が続いております。その余波は世界に広がり、日本にも影響を与えています。株価暴落、航空域の制限、輸出入の制限、物価高騰等、まだまだ思い当たる節があると思われます。これらの情報は各メディアで大きく取り上げられています。

その中でも私の友達の話ですが、今年のゴールデンウィークはコロナ禍の制限がなく、ウキウキで楽しみにしていたそうです。ところが、ロシアがウクライナへの攻撃を続ける為、会社からウクライナへの人道支援活動としてゴールデンウィークの休みを返上して募金活動を行う事となったそうです。「ロシアが戦争を始めなければ、僕のゴールデンウィークは平静を保たれたのに」と私の友達は迷言を残していました。

戦争は良くないですね。終戦を願います。後、各メディアの関係者の方々、様々な団体がウクライナへの人道支援を行っていることもメディアで取り上げて頂けると気持ちが救われる方も多いと思います。(M)